

浄土真宗の葬儀にあたって

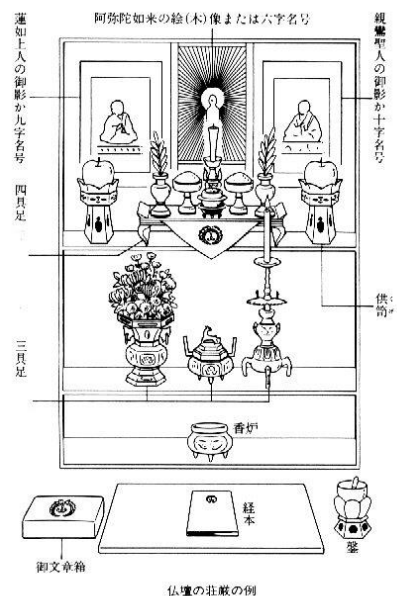
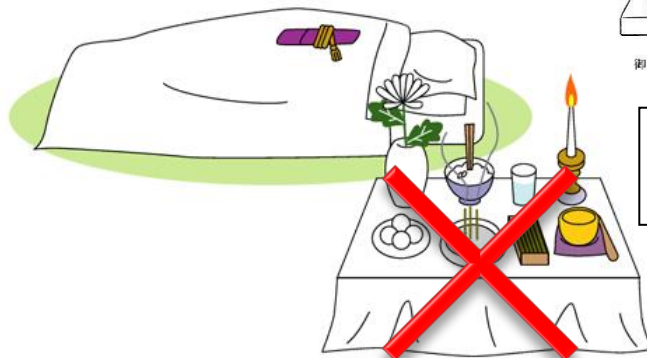
・自宅の準備など

- お仏壇の正面を避けてご遺体を安置します。
また、安置の際にはお仏壇側に足を向けないようにします。
- 私たちの宗旨は浄土真宗本願寺派です。
日程を決める際には、友引などは全く関係ありません。
- お参りやお勤めはお仏壇の前でいたします。
- 必ずお寺の都合を確かめてから日程や時間は決定してください。
- 他のご宗旨のような枕飾りはいたしません。
一輪花や茶碗でご飯をあげたりはしません。
お仏壇に三具足のお荘厳をしましょう。打敷は白色か銀色を使います。
- ろうソクやお線香は絶やさず点けておく必要はありません。
お勤めやお参りが終われば、消していただいても構いません。
- お線香は立てません。香炉が小さい場合には適度に折って寝せます。

- お参り際には、お鑿^{きん}は鳴らしません。
手を合わせ、お念仏申しましょう。

- 帰敬式（おかみそり）を受けておられたら
法名を出しておいてください。

遺体お仏壇の正面を避けて安置します。
北向きではなくとも、頭はお仏壇の方に
します。



枕飾りはいたしません。
お仏壇にお参りしましょう。

・納棺および中陰壇の準備について

- ご遺体には、念珠、お持ちでしたら門徒式章をかけましょう。
- わたしたち浄土真宗は、いのちのご縁が尽きた時には、阿弥陀如来様のお力によってお浄土へ生まれさせていただきみ教えです。
旅に出られるわけではございませんので、手甲、脚絆など旅の装束は着せません。
また、六文銭など、お金を入れたりする必要もありません。
普段通りのお姿でお棺にお納めください。
- 友引だからといって、人形を入れたりする必要はありません。
- 中陰壇はお仏壇のすぐ横に設けます。
祭壇ではありません。1段もしくは2段程度の簡素な台にしましょう。
あくまで法名、お骨、遺影を納骨までの間ご安置する台とお考えください。
お参りやお勤めはお仏壇にいたします。
また、生花や供物などのお供えなども、お仏壇にいたします。

・通夜、葬儀について

- お通夜、葬儀には門徒式章をかけましょう。
- 遺族、親族、参列者の方も一緒にお勤めをしましょう。
- 合掌礼拝の際にはお念仏申しましょう。
- 告別式ではありません。葬儀といいましょう。
- 御文章の拝読の際には、頭を少し下げて拝聴します。
- お浄土に生まれさせていただきみ教えです。「天国」とは言いません。

※その他、ご不明な点はお気軽にお寺に相談してください。

浄土真宗本願寺派 佐賀教区鹿島組

- ・西宗寺 0954-62-4011
- ・荘厳寺 0954-63-1334
- ・光厳寺 0954-62-4412
- ・浄立寺 0954-62-3086
- ・宝円寺 0954-62-3779
- ・善徳寺 0954-62-3645
- ・幸徳寺 0954-63-5158